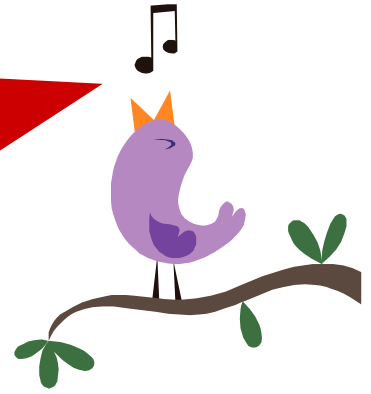


ふらり らいぶらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 169

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 太平洋戦争中に出版された、灯火管制に関する資料が読みたい

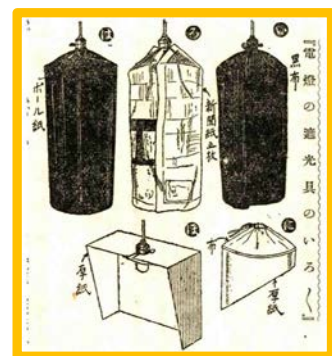
答) 「灯火管制」をキーワードとして検索します。

図書 → ことばから調べる → 灯火管制 → 149件該当

次に出版年月の絞込ボタンで発行年月を絞ります。

出版年月 → 昭和16年1月 から 昭和20年8月 → 44件該当

- 『燈火管制指導者の栞』(391/Sh96 閉架書庫)
- 『防空絵とき』(391.38/D25 閉架書庫)
- 『隣家家庭防空必携』(391.38/Ka99 閉架書庫)
- 『図解防空指導室』(391.38/Ma31 閉架書庫)
- 『少年防空讀本』(398/N28 閉架書庫)
- 『住宅・学校・工場の照明』(545/Se24 閉架書庫)
- 『これからの生活と國民家具』(597/Ka88 閉架書庫)



電燈の遮光具のいろいろ

『續主婦之友花嫁講座 住宅の知識』(590.8/Sh99/8)

◎灯火管制とは敵機の夜間空襲に備えて、目標となりやすい電灯、ネオンなどの明かりを法律で規制することです。状況によって「準備管制」や「警戒管制」「空襲管制」などの種類がありました。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

《幻の甲子園 ～ 第一回 全国中等学校体育大会 野球大会 ～》

今年もまた、甲子園の季節がやってきました。青空の下、全力で白球を追う高校球児たちの姿は清々しく、観ている側もつい応援に力が入ってしまいます。

“夏の高校野球”こと、「全国高等学校野球選手権大会」の歴史は、大正4年（1915）開催の「全国中等学校優勝野球大会」（大阪朝日新聞社主催）からスタートします。旧制中等学校（現在の高等学校）の学生野球は「中等野球（中学野球）」と呼ばれ、大変人気がありました。

しかし、戦局の悪化から昭和16年（1941）7月、2府県以上にまたがる試合の禁止等を含む「学徒の居住地足止め要請」が文部省より通達され、「全国中等学校優勝野球大会」は事実上の中止を余儀なくされます。（主催者である朝日新聞社側の記録では、これより21年までの5年間の「中等野球」は「戦争のために中断」となっています。）夏の大会直前の中止は、既に地区予選が行われていた各地に混乱をもたらしましたが、ことに甲子園を目指し、日々練習を重ねてきた球児たちの落胆ぶりは察するに余りあるものでした。

ところが、翌17年（1942）には、文部省・学徒振興会主催「全国中等学校、師範学校ならびに国民学校、青年学校体育大会」が同年8月に開催されることに決定しました。この大会は柔道・剣道・蹴球（サッカー）等、計10種目もの競技を対象に、銃後鍛錬と志気高揚とを目的とする合同大会でしたが、戦時下で再び野球にふれることができた球児たちの喜びは如何ばかりだったのでしょうか。

第二回大会は同18年（1943）に明治神宮野球場での開催予定となっていましたが、実現できないまま終戦を迎えました。中断していた「全国中等学校優勝野球大会」が復活するのは昭和21年（1946）8月のことです。

参照：『不滅の高校野球（上）』（閉架書庫 783/Ma85/1）
『昭和十七年夏 幻の甲子園』（開架書棚 783/H47）



— 図書室から — 資料公開コーナーのお知らせ

1階資料公開コーナーにて、9月7日（日）まで「焼けあとからたちあがる人びと」を開催していますので、ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 169

2014年7月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1